樂小記續

F 20
63

日本雅樂概辨

図竹　十二音アリ

神楽笛

吹口

号 神仙　中 黄鐘　夕 双調　上 勝絶

六　五 平調　干 壹越

下 下無　上 上無　鳧鐘　断金　鸞鏡

横笛

六 壹越　中 盤渉　夕 黄鐘　上 双調　五 下無　干 平調

次 断金

横笛ニノミアリ

鷗外藏書

E20
63

東京帝國大學圖書印

B 23475

高麗笛（コマ）
六平　中壹　夕盤　上黄　五鳧　干下無
○匝　下ノ笛ノ勒ニ同じ
篳篥
表上ヨリ　下黄（ゲ）　上双　一千　下無　四平　六壹
背
無名　開而
△凢（バウ）神　工盤　五黄
舌（ゼツ）双　孔ヲ皆開ケテ舌尾ヲ吹ク
笙十七　右欠所ヨリ左へ
千下　十双　下下　乙平　工上　美鳧　一盤　八平　也不用
言上　七盤　行黄　上壹　凢壹　乞黄　毛不用　比神

秦　唐傳ノ家　狛高所伝ノ家
墨譜（信　甲　中　乙　四）音
節拍　百、墨圏、墨点
飭所　切　笏拍子　拍タズ
款切　朱圏
和琴六絃　一　二　三　四　五　六　頭ヨリ右尾ヨリ左トレ前ヨリ カゾフ
徵 宮 商 角 羽
請絃横木　一　二　三　四　五　六　以上立柱尺
尺 1.3　1.8　2.9　1.6　2.1　2.4

「數」前ヘヒク
數」向ヒヘヒク

大指

○綸依 四絃ヨリ十二ヱキル ノ用意ゝ

挑語

一絃 一ユ九フ斗 ○糊 柱ノカワル用意

二 ムト十乙コ 孔ヲ隠月ム

三 クセヒゝ之

四 ユ八ーム也

散 左一一一一

吉 食指掛 中指掛 無名指掛 小指掛

(柱按不)

叩 八ユ八 八ヲハラヒ又八ヲタゝク

弛 八ユ 八ヲハラフ

コノ コツ掛一クト共ニヒク

洗 乙ユ 乙ヲ掛シ一ヨリユマデ四絃ヲヒク

返 ユ 撥ヲ返ヒ微ニヒク

打 丁 撓ヲ拍子ニアテ微ニウツ

待月 引 間

放 乙八 乙八ヲ運歩シテヒク

火 急ナリ

第十三絃 一二三四五六七八九十斗為巾 向ヨリ前ヘ

笛

管搔　二ノ七　浮[illegible]果ナリ

早搔

小爪　大指ニテ向ヒヘ

[illegible]　小爪ノ転キ之

返爪　大指爪甲ニテ前ヘ

連　十九八　九八

摘　七五

火　急ナリ

○鞘　弐ニハ用ヰズ但鞘ノ弐アリ

○爪[illegible]　大中食ノ爪

笙

口　孔皆閉

ㇱ　指腹ニテ孔ヲタヽク

動　吹孔ニナラブ指ヲ動ス

連　連吹

由　吹間下開作閉

由リ　同上重ヌ

火　急

引　後

○　句

○鞘　笛ニ同ジ

引　二拍子一息

合竹　主音ヲ合吹ス

残　主音ノ一二ヲノコス

拾　一竹ワノ転ジヒロセフッ

移　主音ニウツリテ持花ス

具　主音ニ一竹ヲカフ

氣替　息ヲカフ

次第　主音ニ二三竹順ニカフ

絶音　向

一竹　一竹ヲノム

延留　合竹ヲノブ

延　息ヲノブ

火　急

由　息ヲカフ

〇　句

鼓

四拍子　一二三四

八拍子　一二三四五六七八

鞨鼓　鞨手ワトニフ　〇播ハウッチリ讀ナレドモ之ニ依ル

正　右桴ヲモテウツ

〇揚　右桴ナリ　アゲル　サシ退レテウツ

来　（左枠ニテウツ　細致ニウツ）

諸来　左右交ヘウツ

片来　左又右ノミウツ

壹鼓　撥上

撥下

大鼓　百下　又ハ朱圀　（雌枠ヲ圀ツ　又圀弁トモ云ヒ　雄枠ヲ百下又百下ト云フ　合シテ百圀ト唱フ）

鉦鼓　（左金）　又　生　又　（左　右）　（告ノ字ヲ用ヒ儀ト唱ヘ又久トモ云フ）（令ノ字ヲ用ヒ礼ト唱フ）

三ノ鼓　（○高麗楽ニアリ）

墨圀　又（左桴　右桴）　志ノ字　又左ノ字　帝ノ字　又右ノ字

笏拍子　初者トル

揩鼓

（帝）亭　又　説　ウツ（中指）

揺　又　ム　又　果　ナヅル（三指）

和琴　予ヨリ迎ヘテ作浄抄ヘ無名抄

名目所

槽

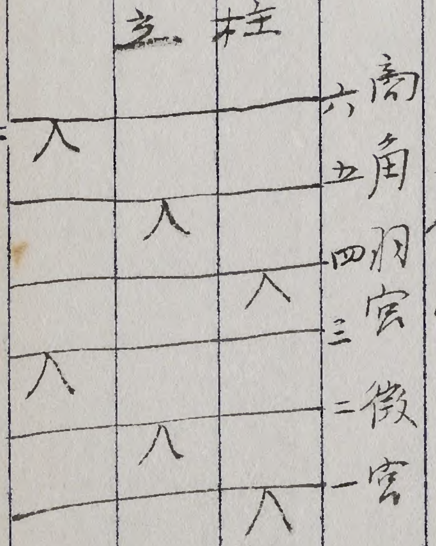
ツ五名キミ巨

錦皮

葦津緒　下ノ頭ニ廿五緒ヲトホス所ヲ浦頭（ハズカシラ）

柱（ヂロヂウ）　楓材

琴軋　撥ナリ小牛角



和琴系図　武内宿禰ヨリ出ヅ

筝　秦蒙恬作ルト云　○桐材

名所　龍角　龍台　柏形　龍帯　玉ノ戸　金ノ戸　龍趾

龍鼻　竜額　竜瞼　竜尾　竜手　竜口　竜頬

竜居　通絃孔　鴟目　三嶽　磯　渚　林　鹿

竜脊　柱　岩越　木度

筝系図　醍醐天皇ヨリ出ヅ　（絲管要抄）

琵琶

漢嫁烏孫公主於昆彌時作、○魏武作、○出手

胡、○風俗通、以手琵琶之、○釈名、推手進曰批、引

手退曰把、○材果李又紫檀、紫藤、桑、腹板澤栗

大　四絃　古楽　○撥　黄楊、柱　檜

中　五柱　平家

小　数柱　明清楽

名所

槽　下面円盤ナリ今甲ト云フ　背　面甲ハ一枚、剥甲ハ三枚

遠山　槽ノ表面ニ、ノ金ノ如ク刻ミアリ

腹板　上面絃ヲ載スル所

覆手又伏手　腹板、上絃本ノ所、陰月ヲ掩フ○唐木

通絃孔　覆手ニアリ

撥目　孔周玳瑁

隠月　覆手下孔、蔵板

額　腹板覆手ノ辺

半月　腹板覆手ト鹿頸トノ間ノ孔

撥面　腹板ノ革ヲ張ル所〇色呈又青

磯　腹周

落帯　磯ノ華

鹿頸　シヨウグビ〇柱ヲ設ル所

匡口　槽ト鹿頸トノ接際

柱　鹿頸上据ヲナス所、乃手 肘探ノ如シ〇槽〇糊貼ニス

蟻通　鹿頸上按柱両辺

乗絃又承絃　鹿頸端槽小木載絃

乗竹　乗絃外面ニ竹片ヲアツル所

猪尾　鹿頸裏面ノ頭絃門ニ接スル所

轉手　絃ヲ巻クモノ四ツ

兎眼　絃門ニサシイル、轉手ノ末ニ

絃蔵　轉手ヲ受ル絃ノ本ヲイルヽ空所

絃門　絃蔵左右ノ木

半手　絃門ノ外辺

海老尾　鹿頸ノ末

虹　腹板内小木撑槽ト腹板トノ間ニアリ

東京宮田製

上下（カリメリ）

撥

大指中指ノ爪ヲ長クスルハ調絃ヲシテ又弾スルタメ之

琵琶希図 唐ノ廉承武ヨリ出ヅ（絲管要抄）

笙

頖宮礼楽疏、列ル管為簫、匏管為笙

竽笙 女媧作ル 大笙十九簧ハ竽也

（古ハ白玉管、後竹トス）

巣笙 小笙十三簧ハ和也

日本ニ傳ハル者ハ十七管

和笙 十五簧（支那ニモ無之 二管アリ）

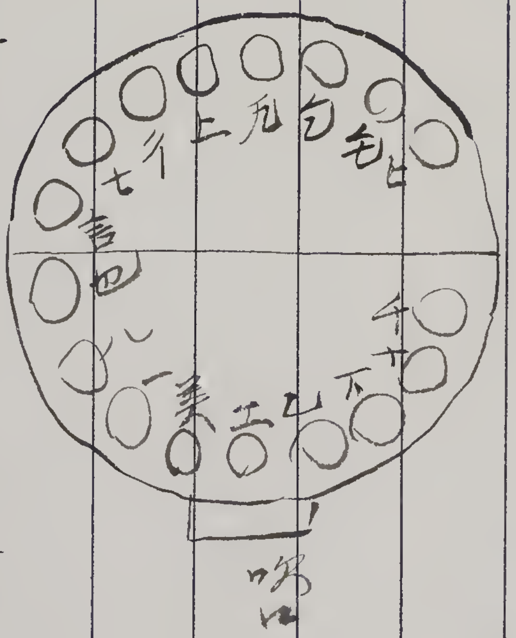
匏（後木ニ 漆木）

閏餘匏

九星匏

七星匏

鏡又蓋 水牛角ノ四枚ニ孔アリ管ヲ通ス 凡ト工ト向ヒ之ツ 缺所上下ヲ串（ヒトチト向）〇ニハ吹口ニアリ凡ハ對側ナリ



簧 響銅俗砂ナリ 鍮ニテ貼ス 衡ヲオク（古銭ニヤキ）

（白ハアワナリ）

青石ヲヒク（黒海石 俗金 竹石）

笛

黄帝令伶倫作ト云

10 東京 宮田製

首本尾右

神樂笛 又 太笛 吹口ノ他六孔

東遊ノ笛 又 中管 又 狛笛 同上 今亡

高麗笛 同上

横笛 吹口ノ外七孔

一ツ鞘 二ツ鞘 無双

後ニ笛袋アリ

蝉 首ノ節ノ方ニ嵌スル唐木ナリ 棒

鉛 首ヲ重クスル為ニ入ル

篳篥 又 悲篥 又 觱篥 又 笳管 張騫撲既孫声作ト云

蘆ノ首、舌 摂津ノ国鵜殿ノ産、枯ラスコト四五年、拉ハ

竹管 石炭煮、泥煮、石灰煮

無ノ穴 上無ナリ壹越六ツ以テ兼ヌ○狛氏説ニ劇字アリ

秦氏説ニ咒字アリ○穴アリ指ニテ塞ギテ吹ク○俗ニ開ヲ用ク

ハ胴伏ナリト云フ咒字ヨリ言フ

家 俗ニ箱ト云 袋

舞楽 允恭、推古、聖武ノ世三タビニワタル

伎楽ノ横笛ノ事ナリト云フ

鞨鼓 又 両杖鼓 桴

鞨鼓

三鼓 大鼓

鉦鼓 皆架上ニアリ

東京 宮田製

大鼓　黄帝作ル夔ノ皮ト云

大大鼓　晴ニ用フ（左三巴赤　右二巴青）火焔、幔幕

桁大鼓　行列ニ用フ鼓ノ右ニ立チテウツ

釣大鼓　正面ニ向ヒテウツ

手首ヲヨラズ肩臂ニテウツ

陰ナル音　削音　桴ヲスグニ放タズ下革面ニ匝キ外縁ヘ去ル

滑ノ音　又小副ノ桴　雨桴下ルノ手　雄桴右楽一ヲ軽ク加フ

鉦鼓

鉦又鐃　邪支ハ我鉦鼓ト異形（

越王勾践作ト云フ○鉦ト云フ（ペン）楽家読　○青銅（鍮石）

大ーー、桁ーー、釣ーー

東京宮田製

桴　撃ツト云フ○摺ルト云フハ非ナリ

拾フハ一ノ文ヲ除キ一ノ文ヲウチテ文ヲナス

壹ノ鼓　岐伯作ト云

本ノ一ノ鼓、二ノ鼓、三ノ鼓、四ノ鼓　小ヨリ大ニ及ブ　アリシニ一ト三ト存

又　楽家読

数拍子　大鼓ノ前ニウツ

播上　古楽ニアリ

播下　新楽ニアリ

播三度、拍子　八拍子ヲ曲拍子ニ加フルナリ

播拍子　古名ナリ今ハ一ノ鼓ヲノウツト云イフ

三ノ鼓

亂声 並 鹿婁囀(ロクロサヘヅリ) 菓曲ガ陵王ニアリ

古ク腰鼓ト云フ

𢾊拍子 又 𢾊桴 又 約(ツヅメ)拍子 大鼓ノ前

三度拍子

唐拍子 納蘇利ノ急ガニアリ

鶏婁 書叢傳ニアリ 前ニカケ

鞉鼓(フリツヾミ) 同上ニアリ 左ニトル 一人

揩鼓 正シクハ荅臘鼓、同上ニアリ

揩稟ノ大鼓ニ似タリ 指ニテウツ

七絃琴 神農作ト云

軫 絃ゴトニアリ七ツ

徽 又 暉 オレ所ニ金玉螺蚌ヲ嵌スル

中徽 又 君徽ハ七徽ナリ

前徽ハ一二三四五六徽

下徽ハ八九十十一十二十三徽

絃 柘蠶絲ノ生揉(ネラ)ス

朱絃トハ流明ナル義

一宮 二商 三角 四徴 五羽 六文又少宮 七武又少商

東京 宮田製

総

樂器考

栗田寛撰　抄本

東遊　體源抄ニ宣化天皇元年天人駿河宇土濱ニ降リテ
奏ス

菩薩、抜頭　元亨釋書ニ林邑人佛哲、波羅門僧菩

10 東京 宮田製

提ト来リ傳フ时ニ天平八年ナリ

絲

倭琴（ヤマトゴト） 又東琴（アヅマゴト）六絃 絃アリキ六弦ヲ列べ考テシニ始マン

又鵄尾琴 後古事記顕宗ノ巻ニ八絃アリ東遊歌

ニ七絃八絃アリ

箏 三代實録ニ仁明帝ノ時藤原貞敏唐ヨリ傳来ス（孫賓將来シニ従作ニ伝ヘ近クハ逆家ニ伝アリ）

十三絃ナリ（懐竹抄ニ一二三四五六七八九十斗為巾）

琵琶 傳来上ニ同じ 簾承武ヨリ貞敏伝フト

琴 七絃ナリ（宮商角徴羽文武）三代實録以下ニ見

エタリ

瑟 常陸国記ニ比佐頭ト云フ五絃乃至三十六絃

10（加）

竹

新羅琴 十二絃

箜篌 又百濟琴又坎候、七絃、臥箜篌カ（寛）

簫篌 竪箜篌、二十三絃（通典）

阮咸 十三絃

奚琴 二絃 嵆康作ル

神楽笛 又和笛、大笛、長笛、七孔アリ横ニ吹ク

天ノ鳥笛 常陸風土記ニアリ

東遊笛 又中管又歌笛、七孔アリ今狛笛ヲ以テ

之ニ代フ

横笛 ヨコブエ八孔アリ羌ヨリ漢ニ入リ我ニ傳フ

長笛 ナガブエ

高麗笛 又高句麗笛、仗横笛、狛笛、籥、七孔アリ

簫 セウノフエ 十三、十六、乃至二十三管アリ

篳篥 ヒチリキ又悲栗、笳管、角栗、九孔アリ羌

胡亀茲ノ製ナリ

尺八、竪ニ吹ク唐制、尺八取倍黄鐘九寸為律ト云フ

洞簫、一節截似タリ一節切ハ一尺〇八分ト云フ

莫目 マクモ又莫牟

大角 ハラノフエ

小角 クダノフエ 胡又呉越ヨリ出ツ

木

肉笛 又吹唇、クチブエ

蘆笳 コサ、カハフエ、ウソ、ナラフエ

拍子 又百師、拍板、笏拍子、オケ、合々木々

反鼻 ヘンヒ又扁皮

百子 ビンザヽラ

柷敔 魚鼓

金

鉦鼓 又鐃

荷鉦鼓

大鉦鼓

銅鈸子 ネウハチ鐃鈸、銅盤

方磬（ハウケイ） 又方響

笙 シヤウノフエ 十七簧アリ

竽 笙ヨリ長シ

簥笙 一作合笙

塤 鵞卵ノ如ク鋭上平底、六孔アリ

石磬 大ナル磬ヲ磬トモ云フ

鼓 ツヅミ

大鼓 オホツヅミ（四ノツヅミハ別ナリ） 又晋鼓 又建鼓 ○鉤大

鼓、大大鼓、荷大鼓アリ

揩鼓 フリツヅミ 又答臘鼓 タラフコカ

鞨鼓

鷄婁鼓

鼗鼓 フリツヅミ 又鞉

細腰鼓 一ノ鼓、二ノ鼓、三ノ鼓、四ノ鼓アリ

楯領鼓

答鼓

簨簴 横ヲ簨ト云ヒ植ヲ簴ト云フ 鼓架ナリ

○

舞器二三

桴 鼓桴ノ如シ

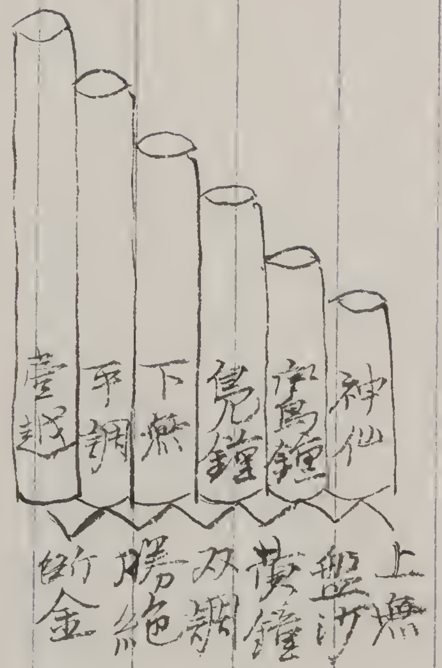
毬、打毬杖
後参桙　拂ノ如シ
楚木
埴玉
鳩杖
薬袋
机子又亭軌
佛光
魚袋　魚ノ魚ヲ吸フ形

楽面

胡飲酒　大　被髪
陵王　中　上ニ火ヲ吐ク竜アリ
菩薩　中　玉冠
蘇利古、安摩　絹　以上壹越
散手　大　髯
抜頭　大　怒ルガ如シ
還城楽　中　髯　以上大食調
採桑老　小　白頭
二舞　一ハ笑フ如ク一ハ眠ル如シ
進宿徳　赤
退宿徳　白頭

新鳥蘇　女子ノ如シ
皇仁　小
八仙　中　鳥嘴
綾切　小
胡徳樂　小　鼻端到口
貴徳　大
納蘇利　鬼面
地久　小　赤　以上高麗曲

八雲琴譜　調子笛図



歌舞品目　藤原守中撰ス

箏　文献通考　類箏治要　集書要録（絲竹口傳ヲ引）　体源抄、和名抄ニ遊　体源抄、教訓抄

一絃　黄鐘（壹越）清　口上　黄鐘　一　仁
二　大呂（断金）　大呂　二　智
三　太簇（平調）　大簇　三　禮
四　夾鐘（勝絶）　夾鐘　四　義
五　姑洗（下無）　姑洗　五　信
六　仲呂（双調）　中呂　六　文
七　蕤賓（鳧鐘）　蕤賓　七　武
八　林鐘（黄鐘）　林鐘　八　斐

九　夷則（鸞鏡）　夷則　九　闕

十　南呂（盤渉）　南呂　十　商

十一　無射（神仙）　無射　斗　斗

十二　應鐘（無射）　飾（平）有巾　応鐘（以上龍十二月）　為　為

十三　黄鐘清　仲呂（象首）　巾　巾

爪　曰義甲　丹鉛総録　又繋爪　楊升庵集

琵琶

蟻通　柱長六分半、両面刃、各餘二厘半許、是ノ也、奥

太緒　一（イチ）絃　從大緒　一柱　工、下（ゲ）、七、八

乙（カウ）　二　几、十、匕、渉（ボウセ）

行（ギャウ）　行者　三　フ、乙、ム、（数）美、言、撰

細緒　上（ジャウ）　上古文以上放縦数聲　四　火（ト）、コ、乙（シャ）、也（又乙之）

琴

徽　面板ニ螺鈿玉石等ニテ小円形ノ物ヲ嵌スルコト十三

猶箏ノ柱ヲ設クルゴトシ左指之ヲ按スルナリ

軫　絃ノ端ヲ結著クルモノ之ヲ轉捩シテ弛張ス

七絃　宮絃

商

角

徵

羽

少宮 又 文

少商 又 武

新羅琴 甲、乙、丙、丁、戊、己、庚、辛、壬、癸、天、地 和名抄

阮咸 金、木、水、火、土 文献通考

笛

干 孔 太笛 横笛ノ前ヨリ第一孔 商 平調 太食調 律

五 太笛狛笛ノ第二孔 横笛ノ第三 變徵 鉄食 呂 林鐘 下無 勝絶

上 文上古 太狛ノ第三 横ノ第四 角 双呂

一加製 鳧鐘

夕 尺カ 勺又 太狛ノ第三 横ノ第五 黄鐘 律 水呂 黄鐘 鸞鏡

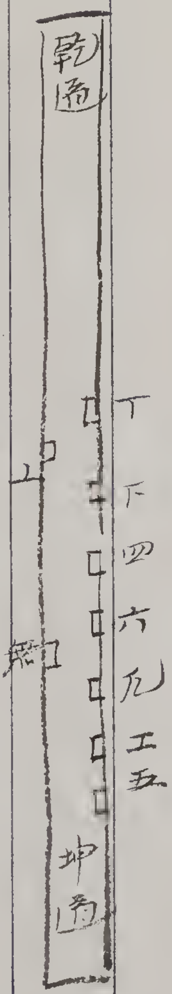
中(チウ) 太狛ノ第五 横ノ第六 羽 盤渉 律 盤渉 神仙

六 太狛ノ第六 横ノ第七 宮 壹越

丁 文下古 變徵 上無

口

鳳簫



丁 上ヨリ第九孔 又第八 黄鐘清 又五

上 第三 双清 六

一 第二 下無 凡

四 第四 平 上

六　〻五　壹越　尺
凡　〻七　神仙　上
工　〻几　盤渉　一
五　〻九　黄鐘调　四
舌　又〻合塞　双调　合
無　又句　〻六　在背面　无

方磬

上下格　合　上格　上九
四　六
一　五

10（加製）

上　印
江　上印
赤　上五　又亡
工　上工　又斗
下九　上一　又下

笙

千　上下無　一節
十ジ　双　一節
下ダ　下無　二節又一
乙〻　平　二節

工（ク） 上無 三〇節〇

美（ビ） 尾鐘 二節

一（イチ） 盤渉 二節ノ又一

八 上平 一節

也 上双 一節

言 上上無 一節

七 上盤渉 一節

行 黄鐘 二節ノ又一

上 上一越 二節

九 一越 三〇節〇

乞（コツ）又骨 下黄鐘 二節ノ

毛 又亡 上無 二節ノ又一

ヒヒヒ 神仙 一節

箇簿 唐律釋文、ーー、楽人為隊行也、

カナヅ（舞、乙） 舞ノ方ナリ

取音 後ニ音取ト云、亦トリナリ 楽ノ初ニ器ヲ試ミル声也

道行（ミチユキ） 舞人舞台ニ上ル向ノ楽也

序 或累

破 又遍 多クハ中曲ノ後吹 入破（ニフハ） 布曲ナト云

急 乱 曲ノ後ニアリ 離騒ニ乱アリ

唱歌（シャウガ） 譜ヲ吟詠スルナリ 竹取ニシヤウガ

知利多利 愚問記ニ百済語ナリト云

宴曲 郢曲ノ一名ノヤウナレド朗詠ノ類ニアラズ謡曲ノ濫觴ナラム

宴曲集、拾菓集、玉林花アリ今存ス

音頭 支那ニテ篳頭ト云 頭取ハ音頭ノ假称ナルベシ

退吹（オメリフキ） 音頭ヨリ一人々々サノミヅイオクレテ吹キハジム 又オメリヒキアリ

炮 筆ヲアブルヲ炮スト云 又那ニテ炙ト云

菅攬（スカガキ） 源氏尋流抄ニ和琴ノモトナル弓弦ヲ菅ニテヨリカケタルベシ 又

無名抄ニモアリ

纏頭 春中記引唐書

多氏 自幽麿ハ多觀中ノ人 諸ノ初テ取リシ比 源雅信

補 延喜中ノ故ニカラル

一 自幽麿九世ノ孫資忠ハ堀川院ノ師ナリ 女摺山

村政連ニコロサル 資忠ノ子忠方、近方二人院ヨリ傳

習ス元龜天正中忠宗再興ス

神樂 人長詞ヲ唱高シ鳴高シ揺舞ヲ揺舞フ、

コヨヒノ三神樂ノ人ノヨサレ云々 白ノ闕腋ナリ但臨

10 （加製）

時祭ニハ小忌（ヲミ）ノ青摺ノ袍 ○ 阿知女ハ琴ヲ菅

掻シテアヂメオオオオトウタフ

新羅樂ハ允恭四十二年、伎（クレ）（百濟）樂ハ推古二十

年ニ来リ唐樂モ亦入ル 林邑（南天竺）樂ハ聖武

天平八年ニ来ル ○ 樂人ハ京都、奈良、天王寺ニア

リヤ

裲襠 樂装ナリ 今ネアテメナタリ

拍子 ハウシ スヒヤクシ 笏拍子、古ハ笏ナリシテ割

リテ二片トス二組ヲ用ルコアリ

鞨鼓 革ハ胡粉塗、胴フトシ、桴二本

三鼓 又細腰鼓 大サモ形モ小ヅヽミニ似タリ紅ノ組緒、桴一本

鉦鼓 青銅ノ円キ鉦ヲ臺アル枠内ニ吊ル

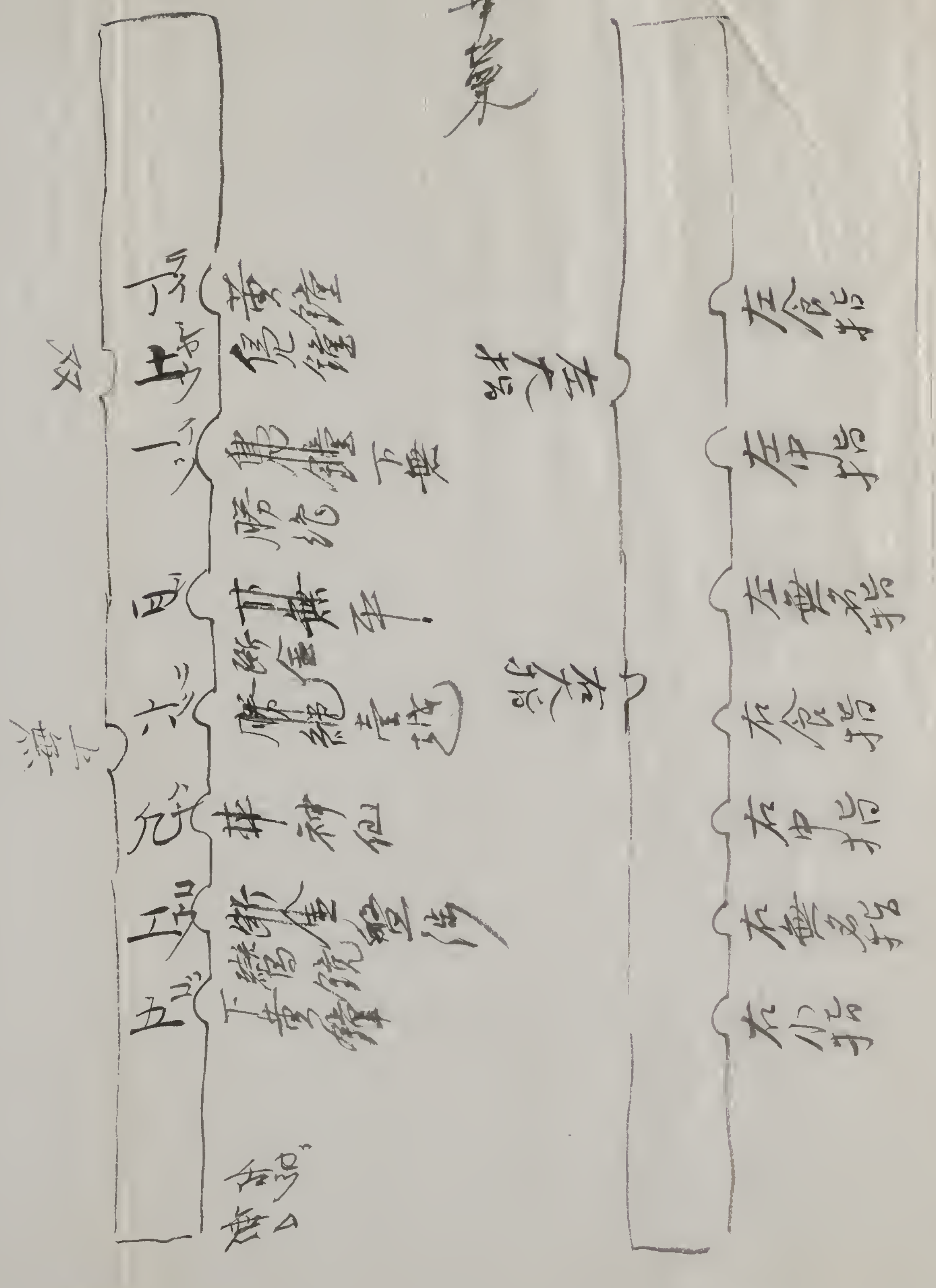
律管 又調子笛又円僕又円、十二律ハ一越ヨリ上無ニ至ル十二管ナリ小円竹ハ六管又三管アリ

笙 又鳳笙、毎管ニ屏上ト云穴アリ千、也、言三管ノ上ニ逆輪ヲ公管ハ水牛ノ蜂巣ニサス

[illegible]孔ニ吹口アリ

篳篥 表七孔裏二孔アリ

篳篥



横笛　又竜笛又ヤウデウ　吹口トモ八孔アリ

狛笛　又狛ノ横笛　吹口トモ七孔アリ東遊ノ中

管ニ代用ス

笙 [illegible]

上元ニ至ル十七管ナリ [illegible] 又三笛管アリ

竹生 又鳳笙 [illegible] 下ニ孔アリ [illegible]

三管ノ上ニ [illegible] 水牛 [illegible]

[illegible] ニ吹 [illegible]

能

古キ俳優（ワザヲギ）ト 合シテ サルガクトナル 翁（セニザイ） 千歳

散樂（今）ト 猿樂

圓滿井（エマイ） 今春

春日神 結崎（ユヒザキ） 観世 観阿彌、次郎清次ト云フ 世阿彌元清、音阿彌元重 観世ト云フ

薗座 外山 保生（ホウシヤウ） 京住ニテ上掛リト云フ

坂戸 金剛 奈良住ニテ下掛リト云フ

鼻金剛ノ門ヨリ（喜多流）喜多七大夫出ヅ 延年舞、白拍子モ大ヘ

田楽ト ヨリ大田楽成ル

散楽 一足 高足等ノ技 ト

觀阿彌、世阿彌猿樂ニ田樂ヲモ入ル

赤松 松囃子ヲ入ル

狂言分離ス

翁懸　立烏帽子　翁狩衣　狩衣　指貫

摺箔ハ白地ニ銀模様ニテ下衣トス、

紋大口ハ模様ノ織出シアリ　白ニアリ

縫箔（ヌイハク）　○厚板

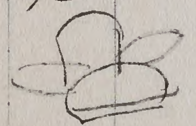
無地熨斗目　下　水衣ノ　○水衣

○角帽子

葛桶　モト大鼓小鼓ノ筒ナルヲ坐具トス

○田子（タゴ）

○唐冠　紗沒



10 加製

樂

蘭陵王

北史、齊宗室文襄諸子蘭陵王長恭、一名孝瓘、（武）

文襄第四子也、累遷并州刺史、突厥入晉陽、

長恭擊之、至金墉之下、被圍甚急、城上人弗

識、長恭免冑示之面、乃下弩手救之、於是

大捷、武士共歌謠之、為蘭陵王入陣曲是

也、

箜篌

北史、烏洛侯國傳、楽有｜｜、木槽革面、而施九弦、

10虎ノ門鈴木製

10虎ノ門鈴木製